

ICD-11 Pediatric TAG の進捗状況

Pediatric TAG のコアメンバーは、世界それぞれのブロックを代表する形で選出されているが、それ以外に以下の Working Group を組織している。

Allergy/Immunology, Cardiology, Dental/Oral Health, Dermatology, ENT, Gastroenterology, Genetic Medicine, Hematology/Oncology, Infectious Diseases, Mental/Behavioral Health, Neonatology, Nephrology, Respiratory Medicine, Rheumatology

他の TAGs と比べてスタートが遅かったこと、小児科学が非常に広汎な分野をカバーしていることから、単独で revision を行っていくというよりも、既に他の TAGs で改訂が行われた内容について小児科的に検討し、さらなる revision を提案するというスタンスで活動している。

ただし、全ての先天性疾患・先天異常は「Rare Diseases TAG」ではなく、「Pediatric TAG」が作業の主体となることが、WHO によって定められ、上記のうち Genetic Medicine のグループを中心に作業が行われた。また Infectious Diseases はどの TAG でも積極的にカバーされておらず、Pediatric TAG において現在も作業進行中である。

それぞれの WG には Pediatric TAG のコアメンバーも配置されていて、随時開催される teleconference やメールによる審議をリードしてきた。

Pediatric TAG は毎月一回の teleconference を開催するとともに、本年 3 月 8-9 日にシカゴの American Academy of Pediatrics 本部において対面での会議を開催し、それぞれの分野の検討を全委員で行った。

以上の WG による”proposed revisions”は、2012 年秋の段階でそれぞれの collaborating TAGs で協議してもらおうべく提出された。

さらにその proposal についての回答も、Gastroenterology や Respiratory Medicine などの Internal Medicine TAG のそれぞれの WG から得られたことを受け、再度小児科側の意見をまとめたものを今月再提出した。その他の WG に関しては、3 月 22 日現在なお作業中のものがあり、現在メール審議でまとめを急いでいるところである。

2013 年 3 月 22 日

文責：森内浩幸（日本小児科学会）